

pal*system

パルシステム千葉

組織案内 2025



Greeting

ごあいさつ

生活協同組合パルシステム千葉
代表理事 理事長 高橋 由美子



2025 年は国連が定めた「国際協同組合年」です。協同組合は、一人ひとりの想いを寄せ合い、協同の力で課題を解決していくための組織として世界中に広がっています。生活協同組合はその名が示すように、組合員の“暮らし”をより良くするための事業と活動を行っています。

パルシステム千葉の源流は 1970 年代、経済発展の一方で食の安全や環境破壊に危機感をもった人々が集まったところから誕生しました。目先の価格の安さや利便性だけにとらわれず、商品を作る人と食べる人の想いをつなぎ、持続可能な生産と消費の実現をめざしてきました。

昨今の米をめぐる情勢では、日本の食料・農業政策の問題点が噴き出しています。パルシステムの産直を社会に発信し、より良い食と農につながる取り組みを提案していくことは、私たちの大きなミッションの一つです。

近年の格差や分断、孤立などの社会的課題に対し、フードバンクへの食材提供や給付型奨学金、人道支援、平和企画など、組合員を中心に多くの人々の協力により活動を広げています。“たすけあい”の組織である協同組合の価値や期待が高まっている中、いろんな“わたし”を認め合い、ささえあい、誰もが尊重される社会をめざします。

地域社会の一員としてパルシステム千葉の理念「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」の実現に向けて、これからも組合員と共に歩んでまいります。

——パルシステム千葉の理念——

「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」

心豊かなくらし

物質的な豊かさだけでなく、心の豊かさや安らぎとくらしの質、そして人と人の結びつきを大切な価値として求めています。

共生の社会

自然と人の共生を基本において、地域や属性を越えた人と人との共生、そして現在と未来との共生をめざし、人と人が助け合う社会を実現します。

つながる力とささえあいの心で 笑顔あふれる地域コミュニティをつくります

2030年ビジョン

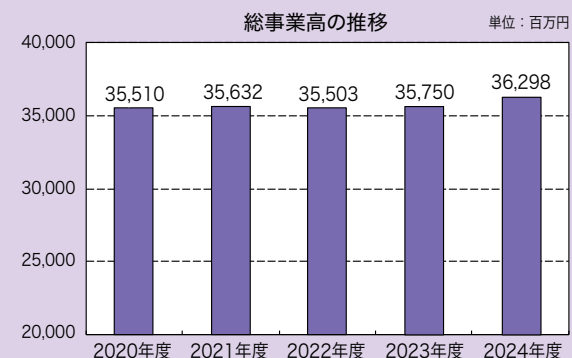
1. 組合員の想いとともに進める生協運営
2. 食の安全・安心と産直
3. ささえあいの心で創る地域コミュニティづくり
4. 明るい未来に向けた環境活動と平和運動
5. 組合員の声に応える事業展開・地域になくてはならない存在に

事業概要

名称 ● 生活協同組合パルシステム千葉
設立 ● 1976年10月
代表 ● 代表理事 理事長 高橋 由美子
代表理事 専務理事 新村 里志

組合員数 ● 27.0万人
出資金 ● 106.0億円
総事業高 ● 362.9億円
職員数 ● 818人(定時職員を含む)
(2025 年 3 月末)

事業状況・業績の推移



事業・活動を通じてSDGsの実現に貢献します。



SDGs(持続可能な開発目標)とは、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。パルシステムの事業・活動は、「誰ひとり取り残さない」とするSDGsの考えに通じています。

パルシステムは
第1回「ジャパン
SDGsアワード」を
受賞しました



CONTENTS

ごあいさつ.....	2	イベントや学習会の開催	10
パルシステム千葉の理念・ビジョン.....	2	サポーター活動	11
パルシステム千葉の事業概要.....	3	自主的活動グループ	11
事業・活動とSDGs.....	3		
「食と農」の取り組み		パルシステム千葉の事業	
パルシステムの商品づくり	4	無店舗事業	12
パルシステムの産直	4	独自商品	13
公開確認会	5	夕食宅配事業	14
直営農場パルグリーンファーム	5	共済事業	15
		店舗事業	15
「環境」の取り組み		介護事業	16
3Rの推進	6	家事支援事業	17
石けんの利用・普及	6		
環境・エネルギー政策	7	パルシステム千葉の人と組織	
パルシステムでんき	7	誰もが働きやすい職場	18
		研修プログラム	19
パルシステム千葉の活動		安全運転の取り組み	19
くらし課題解決への取り組み		職員像	20
生活困窮者支援	8	インタビュー	21
地域連携	9		
平和活動	9	沿革.....	22
組合員活動		サステナビリティアクション	
地域活動施設「パルひろば」.....	10	「もっといい明日へ 超えてく」	23
		国際協同組合年	23



「食と農」の取り組み



パルシステムの商品づくり

パルシステムの商品は、単なる「モノ」ではありません。「食」と「農」をつなぎ、いのちの力があふれる社会を、次の世代にきちんと手渡したい。そんな想いを込めてパルシステムは、次の「7つの約束」の実現をめざして商品づくりを進めます。

7つの約束

1. 作り手と「顔の見える関係」を築き、信頼から生み出された商品をお届けします。
2. 食の基盤となる農を守るためにも国産を優先します。
3. 環境に配慮し、持続できる食生産のあり方を追求します。
4. 化学調味料不使用で、豊かな味覚を育みます。
5. 遺伝子組換えに「NO!」と言います。
6. 厳選した素材を使い、添加物にはできるだけ頼りません。
7. 組合員の声を反映させた商品づくりを大切にします。

パルシステムの産直

パルシステムの産直は、環境保全・資源循環を基本におき、食と農をつないで豊かな地域社会をつくることを目的としています。生産者（作る）と組合員（食べる）がともに支え合う、そのパートナーシップを育むための運動こそパルシステムの「産直」です。

産直
4原則

1. 生産者・産地が明らかであること
2. 生産方法や出荷基準が明らかで生産の履歴がわかること
3. 環境保全型・資源循環型農業をめざしていること
4. 生産者と組合員相互の交流ができること

農薬削減プログラム

パルシステムでは「農薬削減プログラム」に取り組み、「コア・フード」「エコ・チャレンジ」という独自基準を設定しています。めざしているのは、人体や環境への影響が大きい化学合成農薬を避け、化学肥料の削減を通して健康な土づくりを進めることです。



コア・フード

有機 JAS 認証を取得した「有機農産物」、またはそれに準ずると判断された農産物。化学合成農薬、化学肥料を使わない、パルシステムのトップブランドです。
※有機 JAS 認証での使用可能資材を除く。



エコ・チャレンジ

化学合成農薬、化学肥料を各都道府県で定められた慣行栽培基準の 1/2 以下に削減。加えて、パルシステムの「削減目標農薬」の不使用を原則とします。
※青果は、除草剤、土壌くん蒸剤不使用。

表示なし

表示がないものも環境保全型農業に取り組み、可能な限り化学合成農薬、化学肥料の削減に努める産直産地の青果です。

公開確認会

農畜産物の栽培・生産方法や安全性への取り組みを組合員が直接確認するパルシステム独自の取り組みです。

食に関わる安全性や生産者の努力を、組合員自身が確かめます。生産者と組合員がより深く理解し合い、課題を共有し改善につなげる、発展的な交流のシステムです。



2024 年 和郷園（香取市）



2021 年 菜の花エッグ（千葉）

直営農場パルグリーンファーム

2012年にパルシステム千葉が農業生産法人として立ち上げました。職員が農業者となって、野田市の遊休農地を活用し、農薬や化学肥料に頼らず、土づくりにこだわったビタミン・ミネラル分の多い野菜の栽培にチャレンジしています。栽培基準は、パルシステムの「エコ・チャレンジ」以上。組合員交流や職員研修の場としても活用しています。



「環境」の取り組み



3Rの推進

廃棄物の発生を抑制する「リデュース（発生抑制）」、廃棄せずに繰り返し使用する「リユース（再使用）」、廃棄物を原料として再生利用する「リサイクル（再生利用）」をはじめ、環境負荷の少ない商品パッケージへの改良を進めています。

また、2016年より、使用済みのペットボトルを新たなペットボトルに再生させる“ボトル(B) to ボトル(B)”を採用した『富士の天然水（PET）』の取り扱いを始めました。一般的に使用済み容器は食品用トレイや収納容器など別の製品に姿を変えますが、本品は再び同じペットボトルになります。石油から製造するよりも、CO₂ 排出量を大幅に削減することができます。



石けんの利用・普及

公害が深刻だった時代に「川や海を洗剤の泡で汚さないように、環境中で分解しやすい石けんを使いたい」という組合員の声から始まった石けんの利用は、パルシステムの環境活動の原点です。洗濯や食器洗い用の石けんの利用をすすめるほか、重曹や酸素系漂白剤も含め、組合員に向けて使い方の学習会を開催しています。

また、家事支援サービスでは、エアコンクリーニングやハウスクリーニングにおいて石けんを使用しています。



環境・エネルギー政策

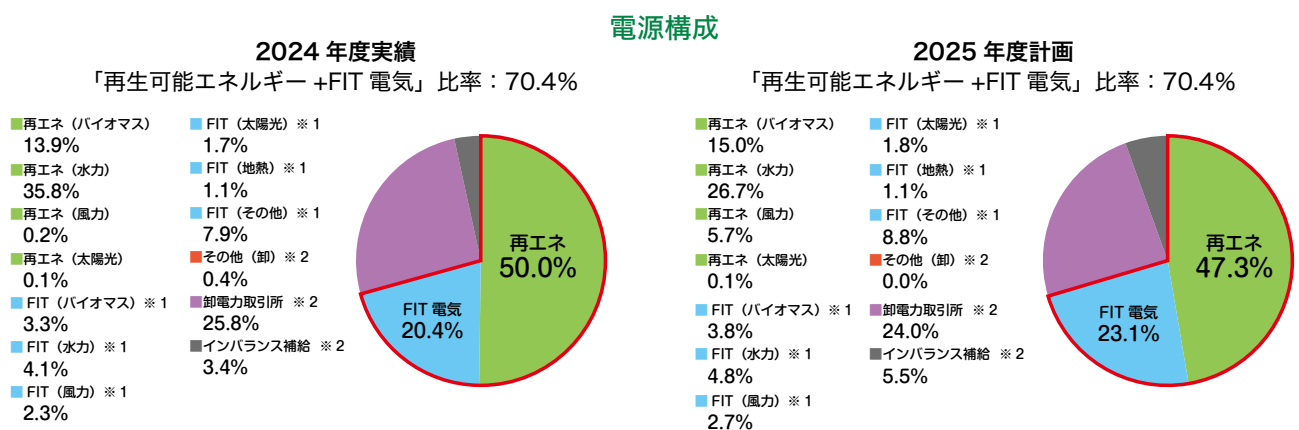
2050年に排出する温室効果ガスの実質ゼロ、2030年に2013年比で46%の削減をめざすために、パルシステムグループでは新たに「環境・エネルギー政策」を策定しました。配送センターへの太陽光パネル設置や電気自動車の導入など、さまざまな取り組みを推進しています。また、環境省の「うちエコ診断ソフト」を用いて、認定を受けた職員が行う診断や、簡易的に個人で診断できるWeb版の活用を通じて、一人ひとりの環境に対する意識を啓発し、受診家庭の光熱費やCO₂ 対策を推進することで、効果的にCO₂ の排出を抑制しています。

パルシステム千葉では「再生可能エネルギー」や「3Rの推進」などの環境をテーマにした環境学習企画も開催しています。環境の取り組みやエコな暮らし方について、利用者である組合員に報告や提案等を行う「環境サポーター」を組合員から募集し、牛乳パックを題材にリサイクルについて学ぶ企画の講師を担っていただくなど、組合員とともに環境の取り組みを広げています。



パルシステムでんき

パルシステムでんきは、畑の上に広がる空間に設置した太陽光パネルを利用した「ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）」、田んぼを潤す水路の水を活用した「小水力発電」、養鶏の鶏たちから日々大量に発生するふんを燃やしてつくる「バイオマス発電」を含め、「再生可能エネルギー」を中心とした電気を供給しています。



※1 この電気を調達する費用の一部は、パルシステムでんき利用者以外の方も含め、電気をご利用のすべての方が負担する賦課金によって賄われており、国の制度上、非化石証書を使用していない部分はCO₂ 排出量をもった電気として扱われます。
 ※2 この電気には、水力、火力、原子力、FIT 電気、再生可能エネルギーなどが含まれます。

「令和6年度 千葉県循環型社会形成推進功労者等表彰」受賞

パルシステム千葉が組合員とともに長年にわたり取り組んできた3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動などが評価され、受賞いたしました。





パルシステム千葉の活動



くらし課題解決への取り組み

生活困窮者支援

フードドライブの取り組み

2016年より県内のフードバンクと連携し、組合員宅に眠っている食品を回収するフードドライブの取り組みがスタートしました。2017年には対象を県内配送エリア全域に広げ、2022年からはフードドライブBOXを「のだ中根店」に通年で設置。2023年度にはパルシステム商品を組合員が購入して寄贈するしくみも導入しました。

配送時に回収または店舗へお寄せいただいた食品の仕分け作業には組合員もボランティアで参加し、県内各地のフードバンクを通じて生活困窮者、子ども食堂などの支援に活用されています。



子ども食堂への協力

地域にある一部の子ども食堂へ、パルシステムの産直産地の予備青果や(株)パル・ミートの肉類を提供するなど、貧困や孤食問題に対し、地域の一員として支援しています。

こども・若者未来基金

児童養護施設や里親家庭などの社会的養護のもとで暮らす子どもの自立支援を目的に「こども・若者未来基金」を「認定NPO法人ちばこどもおうえんだん」(*)や県内の3生協とともに2017年に設立し、募金の呼びかけや学習会を実施するなど、支援に取り組んでいます。

※認定NPO法人ちばこどもおうえんだん

社会的養護の必要な子どもの自立等を目的に設立。千葉県内3生協(パルシステム千葉、生活クラブ生協、なのはな生協)や労働福祉団体と活動を進めています。



パルシステム給付型奨学金

家庭環境や経済的な理由で大学への進学や就学の継続が困難になっている若者を対象に、組合員の皆さんからの募金で支える「パルシステム給付型奨学金制度」をパルシステムグループで創設。貸与型ではなく、返済不要の給付型で、奨学生と伴走者をサポートします。

地域連携

パルシステム千葉コミュニティ活動助成基金

千葉県内で地域のさまざまなくらし課題解決に取り組んでいる団体や、今後活動を立ち上げようとしている方々を資金面で支援するために、「パルシステム千葉コミュニティ活動助成基金」を2001年度に設置しました。24年間で助成金額は総額68,909,158円、交付団体数はのべ299団体となりました(2024年度現在)。



地域コミュニティづくり

パルシステム千葉は2030年ビジョンにもとづき、「誰もが安心して笑顔でくらし続けられる地域づくり」をめざし、地域団体と連携して取り組んでいます。流山市の大学生によるシニア向けスマホの使い方講座「スマホカフェ」や地域団体と連携した「シルバーリハビリ体操」の開催などを行っています。



高齢者の見守り

県内の配送エリアである52行政区の自治体と「高齢者見守り協定」を結び、配達時において異変を感じた際に、市の窓口と連携する役割を担っています。また、千葉県が行う「ちばSSK(しない・させない・孤立化)プロジェクト」にも参加しているほか、離れて暮らす家族に配達時の状況などを知らせる「見守り安心サービス」も提供しています。

災害協定

各自治体や企業などと災害時における生活物資の供給等に関する協定を結んでいます(船橋市・野田市・柏市・流山市・松戸市。千葉県とは千葉県生協連を通じて締結)。災害発生時は、協定に基づき自治体からの要請に対して救援物資調達や物資搬送を行います。また、災害等もしもの際に備え、船橋市と防災MCA無線機器設置のほか、9都都市で開催される合同防災訓練などにも参加しています。

平和活動

明るい平和な社会を次世代につなげていくために、パルシステム千葉では「反戦」「反貧困」「国際交流」を中心に平和活動の行動方針を掲げ、組合員親子や役職員を対象とした「ピースアクション in ヒロシマ・オキナワ」への参加や平和に関する学習会などを行っています。

また、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)のノーベル平和賞受賞を祝して、核廃絶と平和への願いを次世代に継承する機会として千葉県生活協同組合連合会の主催で「未来へつなぐ平和のつどい」を開催しました。



組合員活動

地域活動施設「パルひろば」

組合員や地域の皆さんの活動や取り組みをサポートするための拠点として、千葉市と流山市に開設。会議や上映会、調理実習に使える「キッチン会議室」のほか専用トイレ、オムツ交換台などを備えた「キッズスペース」などがあり、幅広い世代の方々にさまざまなシーンで活用いただいています。



イベントや学習会の開催

「食」「暮らし」「環境」「子育て」等をテーマに、県内各地で開催している「パルシステムのつどい」や「あそびの広場」など、毎月さまざまな行事を開催しています。組合員だけでなく、地域の方々にも幅広くご参加いただいています。2020年度から始まったオンライン企画も好評です。

パルシステム
のつどい



食の安全
学習会



商品
展示会



あそびの
広場



子育て
フェスタ



サポーター活動

パルシステム千葉の活動は組合員による多くの「サポーター」に支えられています。産直交流やイベントの企画・運営サポート、広報活動のサポート、商品づくりなど、さまざまな行事・活動を組合員と共に作りあげています。

センターサポーター



各センターが主催する「パルシステムのつどい」の企画づくりや運営サポートのほか、センターのコミュニティ連絡会議に参加して地域の活動をいっしょに進めます。

子育てサポーター



「子育てフェスタ」など親子向けイベントの企画・実施や「子育てオンライン座談会」の企画・運営などを行っています。

環境サポーター



環境の取り組みやエコな暮らし方について組合員に提案しています。親子環境学習会など、パルシステム千葉主催の環境企画の運営をサポートしています。

サポーター 活動の一例

産直サポーター



産地や消費地で開催する産直交流やオンライン交流をサポートする活動です。活動を通して産直への理解を深め、いっしょに【パルシステムの産直】を伝えます。

商品伝えるサポーター



組合員開発協力商品を中心に、パルシステムの商品やサービスを伝える活動をしています。「パルシステムのつどい」など、さまざまなイベントで組合員から組合員へ伝えます。

広報サポーター



機関紙などパルシステム千葉の発行物の制作協力として、イラストやレシピ提供などを行っています。ご自宅のできる活動が中心です。

自主的活動グループ

組合員の自主的・自発的なグループ活動を応援し、地域や暮らしの充実を支援する制度。組合員1名を発起人とし、3名以上でグループ登録が可能。登録したグループに対し、広報や施設の利用、活動補助費などの支援をしています。





パルシステム千葉の事業



無店舗事業

宅配事業

週に1回決まった曜日に個人・グループ利用の組合員のご自宅などへ、国産・産直・環境にこだわった安全・安心な食材などをお届けしています。

ご利用はライフスタイルに合わせて選べるメインカタログのほか、赤ちゃんとの暮らし、アレルギー、介護、ペットをテーマとした、登録制のオプションカタログもご用意しています。インターネットからのご加入やご注文、アプリからのご注文など、暮らしに合ったご利用方法をお選びいただけます。



法人利用

子育て支援、地域づくりを拡充し、法人向けの食材宅配サービスも展開しています。幼稚園、保育園、学童や医療施設などにお届けしています。



パルシステム千葉の独自商品

パルシステム千葉では、千葉の組合員を対象とした独自の商品企画を展開しています。

千葉県内の地産地消商品のほか、県内産地の生産者と協力して商品のお取り扱いをしています。

パルズダイニング (Pal's Dining)

パルシステム千葉の組合員だけに配付されるカタログ。千葉県内の地産地消商品や全国各地の名産品など、こだわりの品々を掲載しています。



紅はるかの干し芋いっぷく堂のはるかさん (香取市産を使用)



生姜こんぶばりばり大根 (千葉県産生姜を使用)

予約登録米 エコ・千葉こしひかり

予約登録米は、田植え時期に組合員が予約登録した米を定期的に届ける仕組みです。気候変動など、不測の事態が発生しても優先的にお届けします。1年分を予約することで、生産者の計画的な米作りを支え、環境保全型農業の応援にもつながります。「作る」「食べる」の双方が安心できる制度です。

エコ・千葉こしひかり

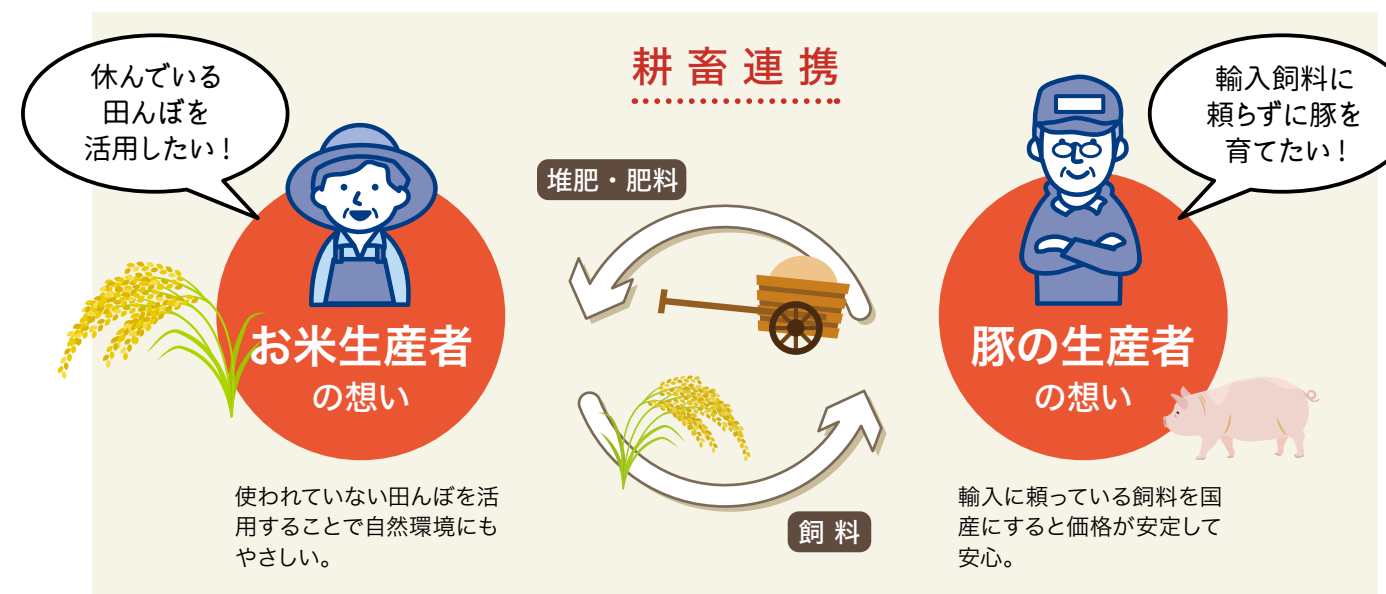
エコ・千葉こしひかりは、パルシステム千葉の組合員だけが予約登録できます。予約登録をした組合員限定の稲刈り体験も開催しています。



パルシステムの「予約登録米制度」が2023年度グッドデザイン賞を受賞しました。全国的な米の消費が減少するなか、環境保全型農業による持続可能な生産と消費の確立に向けた取り組みが評価されました。

パルシステム千葉のこめ豚

パルシステム千葉では、資源循環型農業をめざし、耕作と畜産の連携「耕畜連携」に取り組んでいます。「パルシステム千葉のこめ豚」は千葉県の休耕田を復活させてお米を作り、そのお米を飼料に使用して千葉県で育った豚のお肉（冷凍）を定期的にお届けする予約登録商品です。県内の産直産地と共同開発して実現した、まさに「地産地消」の代表商品です。



夕食宅配事業

だしと調味料にこだわった当日製造のお弁当「うちの晩ごはん」を配達料無料でお届けしています。また、商品のお届けと同時に一人暮らしの高齢者などの見守りも担っています。

利用日数は週ごとに変更可能（週合計3食以上で1日からお届け可）。メニューは「こだわり御膳」のほか、「ごはん付きタイプ」「おかずタイプ」の3種類。メイン弁当3種類の他に、ボリューム弁当等も揃えています。

夕食
生協の
宅配



（こだわり御膳）

7種類以上の多彩なおかずが自慢です。野菜たっぷり、だしや調味料にもこだわり、素材本来の味をお楽しみいただけます。

（ごはん付きタイプ）

5種のおかずとごはんのセットです。ごはんは食味に優れた、千葉県産こしひかりを使用しています。

（おかずタイプ）

6種のおかずを、彩りと栄養バランスよく盛り付けました。だしのうまみで塩分を抑えつつ、素材本来のうまみを引き出しています。

「生協の介護食・医療食」「生協のおそうざい」



多くの皆さまからご要望をいただき、2024年10月より「やわらか普通食」「きざみ食」「ムース食」の3コースから選べる「介護食」と、「カロリー1600調整食」「カロリー1400調整食」「たんぱく40g食」「たんぱく60g食」の4コースから選べる「医療食」のお届けを開始しました。また、新たなおかずメニューとして、「生協のおそうざい」を2024年11月より開始しました。

生協の介護食



生協の医療食



生協のおそうざい



※写真は盛り付け例です。
※全て冷蔵です。

共済事業

CO・OP 共済《たすけあい》は、「組合員どうしが困ったときに助け合いたい」という想いから生まれた商品です。入院・手術・ケガなどを手頃な掛金で幅広くサポートします。また、生命保障に入院やがんの保障をプラスできる《あいぶらす》、一生涯つづく保障の《ずっとあい》など、組合員のくらしへのお役立ちを目的とした事業です。

ライフプランニング活動

組合員のさまざまなくらしの課題を解決するお手伝いとして、ライフプランの作成や家計・保障などのお金の学習会や講座を開催しています。ファイナンシャル・プランナーの資格を持った組合員（LPA＝ライフプラン・アドバイザー）が講師となり、くらしに役立つ知識や方法を組合員に広めています。



LPA 講座



CO・OP 共済《たすけあい》ジュニアコースは、子ども向け共済契約数 No.1 になりました。

★「共済年鑑 2024年版」より
★各共済によって、子ども向け保障商品の加入年齢・満期年齢・保障内容等は異なります。
《たすけあい》ジュニアコースは、加入年齢0歳～満19歳・満30歳満期の商品です。
他の共済ではジュニアコースよりも加入年齢・満期年齢が低い商品があります。

店舗事業

地場野菜や地産地消商品、直営農場パルグリーンファームやパルシステム産地の青果、パルシステム PB（プライベートブランド）商品など、こだわりの商品を数多く取り揃えています。幅広い世代の方のニーズにお応えして、店内には100円ショップも併設しています。

また、野田市との協働事業で移動販売車「まごころ便」を運行しています。生鮮食品や惣菜を専用車両に積み、野田市内の買い物困難地域を巡回販売しています。店舗で買い物した商品をご自宅までお届けする「まごころ宅配便」や電話でご注文いただいた商品をお届けする「まごころ御用聞き便」もあります。



移動販売車
まごころ便



介護事業

「生協 10 の基本ケア」を推進し、介護者を含む社会的な人間関係づくりと、本人の能力を引き出す「生活リハビリ」に基づいた介護サービスを提供しています。市川市・野田市・松戸市・船橋市に拠点を置き、デイサービス、訪問介護事業、居宅介護支援事業を展開。また、松戸市にサービス付き高齢者向け住宅を開設し、住みなれた地域で暮らし続けられる介護の提供をめざしています。



生協10の基本ケア



1. 換気をする

病気予防の基本として、換気を行います。新鮮な空気を取り入れ、衛生的な環境を守り、感染症を予防します。

2. 床に足をつけて座る

日常生活がリハビリという考えの下、足を使って立ち上がる習慣を身につける中で、トイレやお食事など自分でできることを増やします。

3. トイレに座る

トイレでの排泄は人間が守るべき尊厳の基本と考えます。布パンツでの暮らしをサポートします。

4. あたたかい食事をする

ご自身で調理したり盛りつけたり、親しい方と楽しく食べることで社会性を保ちます。誤嚥防止のために、食事前には口の体操も行います。

5. 家庭浴に入る

湯船にゆったりつかる習慣は日本の素晴らしい文化です。生活リハビリの効果を生かして家庭浴への入浴を大切にしています。



6. 座って会話をする

安心感を与えられるように座って会話をします。共に時間を過ごし、日々の見守りを行います。

7. 町内におでかけをする

慣れ親しんだ地域に出かけることは社会性や精神的な豊かさを保つために大切なことです。これまでの生活リズムを維持できるようにします。

8. 夢中になれることをする

自分らしく、好きなことに夢中になれる機会や、居場所づくりに取り組みます。



9. ケア会議をする

自分の街で住み続けられるように、社会性とくらしを守るケアプランをつくります。職員はチームでケアに取り組み、ご家族を含めサポートします。

10. ターミナルケアをする

元気な時から人生の最期まで、地域との連携でご自宅でのターミナルケアをサポートします。

サービス付き高齢者向け住宅 「にじいろる松戸六実」

千葉県松戸市にてサービス付き高齢者向け住宅「にじいろる松戸六実」を運営しています。訪問介護、デイサービス事業所を併設し、要介護の方も安心して暮らせる住まいです。パルシステムのお米や季節の食材を使い、栄養バランスに配慮した食事で“食べる楽しみ”と健康を支えます。季節ごとの行事やイベントを行うなど、ご自身のペースで毎日をお過ごしいただけます。地域に開かれた施設として、地域交流スペースでは地域の諸団体と連携した企画なども実施しています。



家事支援事業

組合員のくらしを守り、支える。それがパルシステム千葉の目標です。組合員一人ひとり異なる“くらしの課題”の中で、日々の家事、付き添い、身の回りのちょっとしたことを誠心誠意を込めてお手伝いしています。

家事代行

掃除や洗濯、片付け、料理など、日々の家事をお手伝いするほか、お子さまの送迎や見守り、ペットの世話（補助）なども承ります。定期コースやスポットコース等があり、ご要望や状況に合わせた利用ができます。



排水管クリーニング

キッチンや換気扇、浴室のハウスクリーニングをご利用の方を中心に、多数のご要望をいただいています。「排水口から異臭がする」「水の流れが良くない」等の水回りのお悩みを解決します。



整理収納

整理収納アドバイザー 1 級の資格をもつスタッフが伺います。プロの知識をお伝えしながらいっしょに作業することで、片付けのコツも学べます。



襖・障子・網戸・畳の張替え

人と環境にやさしい厳選した素材と熟練の畳職人による丁寧な仕事で、より綺麗で快適な空間作りをお手伝いいたします。



エアコンクリーニング・ハウスクリーニング

エアコンや換気扇、浴室の汚れなど日常の掃除では落とすづらい汚れを専門スタッフが掃除します。石けんを使用しているので刺激臭がせず、赤ちゃんやペットのいるご家庭にも安心です。



庭木の剪定・伐採

「伸びすぎた枝や庭木の手入れをしてほしい」「高いところの作業ができなくなってしまった」等の声にお応えします。伸びすぎた植木の剪定や枝下ろし、垣根の刈り込み、不要になった木の伐木等を承ります。



お墓のおそうじ代行

お住まいが遠方、高齢でなかなか足を運べない、時間がないなどでお困りの方におすすめです。作業前と後の写真を報告書といっしょに郵送いたします。





パルシステム千葉の人と組織



誰もが働きやすい職場

子育てサポート企業

厚生労働省の定める次世代育成支援対策推進法^(※1)に基づき、仕事と子育ての両立を図るための雇用環境整備を進めています。子育て支援に積極的に取り組む企業として、2023年には6回目の「くるみん認定」を受けました。

※1 少子化対策の一環として、次の社会を担う子どもたちが健やかに生まれ、かつ育成される社会の環境整備を行うことを目的とした法律です。



フレンドリーオフィス・障がい者雇用・ユニバーサル就労

障がいのある人の雇用に対する理解と促進を図るため、パルシステム千葉は障がいのある人を積極的に雇用し、障がいのある人もない人もともに働いている事業所「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス」として、千葉県より認定されています。また、パルシステム千葉では誰もが働きやすい職場づくりのため、「障がい者雇用」「ユニバーサル就労」を推進し、ジョブコーチ^(※2)と共に取り組んでいます。

2024年度は各事業所のジョブサポーター^(※3)の配置を増やし、よりきめ細かいサポートが行えるようになりました。

※2 ジョブコーチ：障がいのある方が就労するにあたり、職場定着して長く働けるように支援する業務を担います

※3 ジョブサポーター：障がいのある方が働く職場で直接的な支援を行います

働きやすい環境整備

パルシステム千葉では在宅勤務制度を導入し、一部の事業所では敷地内に託児できる環境を整えるなど、安心して働ける職場づくりに努めています。また、働き方改革については中長期的計画を立て、すべての職員が長く働き続けられる環境整備を進めています。

松戸センターでは、エレベーターや多目的トイレを設置し、事務所は基本的に引き戸にするなど、バリアフリーに配慮しています。また、食堂や畳コーナーを設けた休憩スペースのほかバルコニーもあり、働きやすい環境を整えました。



研修プログラム

パルカレッジ

パルシステムグループでは、2005年より独自の研修制度「パルカレッジ」をスタートしました。職階や役割などに応じたさまざまな座学研修・通信教育などで必要な科目を受講できるようにしています。

新入協者研修

入協前、内定の段階から産地見学などの研修を行います。入協後は、挨拶や身だしなみなどの基本的なビジネスマナー、パルシステムの事業や活動、商品について学びます。また、安全運転の実地研修も行います。

産地研修

パルシステム千葉で働くすべての職員が産地を訪れ、生産者の想いや商品について語れるようにと、産地研修を続けてきました。

また、パルシステム千葉の職員全員が「直営農場パルグリーンファーム」の生産者の一人という意識を持ち、定期的な農作業に関わっています。



安全運転の取り組み

安全運転推進

すべての事業において安全運転を最優先に考え、職員の安全運転への意識と技術向上をめざした取り組みを実施しています。

また、交通事故の防止と安全運転活動の普及を目的に各事業所の管理者を含むメンバーで構成した安全運転推進委員会を設置しています。さらに、事業所の管理・監督職を中心に安全運転指導員を配置し、現場での安全運転を推進しています。

現場での取り組み

車両管理機器（通信型ドライブレコーダー等）を設置するとともに、注意すべき挙動は指導員に通知される仕組みを導入。その映像は個別指導や「危険予知教育」に活用しています。

事故の再発防止の対策として、安全運転指導員による同乗指導や実施訓練なども行っています。さらに、事故事例を共有し、意見交換を行います。



配送センターでの実地研修



ドライブレコーダーの映像確認

組合員の思いを受け止め、自らの行動に責任と誇りを持ち、挑戦し続ける職員

常に「なぜ」を問い、
失敗を恐れず、挑戦できる職員

チャレンジ精神

独創的な事業展開により成長し、新たな価値・創造から躍進するパルシステムであり続けたい。

一人ひとりの思いを尊重し、
責任を果せる職員

多様性と共生

多様な価値観や立場の違いを尊重し、協同の力で思いを実現するパルシステムであり続けたい。

組合員

周囲への感謝を、
心から伝えることができる職員

誠実と感謝

感謝の気持ちを素直に表現できること、そして、驕らず慢心せず誠実なパルシステムであり続けたい。

供給の仕事

組合員のもとへ商品をお届けする「配達」が中心となる、供給の仕事。ただ商品をお届けだけではなく、地域の組合員をつなぎ笑顔と安心の輪を広げていく、いわば「コミュニティの架け橋」としての役割も果たしています。

営業の仕事

営業の仕事は、組合員を増やすこと。パルシステムの営業は特定の商品进行を売るのではなく、安全でおいしい商品や地域環境への貢献活動などさまざまなパルシステムの魅力を伝え、より多くの方に組合員として利用をいただくことが目標です。



コンプライアンスの推進

法令遵守にとどまらず、倫理的にも組合員や社会に信頼される行動をとるための指針として「行動規範」を定め、また、コンプライアンス相談窓口の設置や職員ヒアリングの実施など、パルシステム千葉はコンプライアンス経営を推進しています。

行動規範

組織の理念に沿って適切な行動をとるための指針として「行動規範」を定め、この内容を掲載したカードの携帯や朝礼での唱和等を通じ、日々確認しています。

相談窓口・職員ヒアリング

職員からコンプライアンスに関わる相談を受け付けは正等に向けて対応する窓口を設置。また、毎年職員ヒアリングを実施し、職員の意見を踏まえさまざまな改善を図り、いきいきと働ける健全な職場づくりに努めています。

2021年度入協
配送部門
武田 泰地



生産者の想いもいっしょに届ける

仕事内容

生協の宅配パルシステムをご利用の組合員へ、商品をお届けする仕事です。

仕事のやりがい

配送センターでは定期的に「商品学習会」が開かれて、生産者の言葉を直接聞く機会があるのですが、そこで勉強したことを組合員に伝えたら「さっそく頼んでみたよ。すごくおいしかった！」と言われてとてもうれしい気持ちになることがあります。ただ「モノ」を配達するだけじゃない生協の良さを感じました。雨の日などちょっと大変なこともあるのですが、「ありがとう」の一言で報われた気分になります。これからも「生産者の想いが詰まった」商品を皆さんのもとへお届けしていきます！



2022年度入協
営業部門
平田 真弥



いっしょに働く人に魅力を感じて

入協のきっかけ

私は大学で食や農業の社会課題を学び、食や農に貢献する仕事に就きたいと思うようになるなかで、生協、とくに食の安全や生産者とのつながりを大切にしているパルシステムに興味を持ちました。面接で人事の方々の温かさを感じたこともあり、入協を決めました。

仕事内容

地域の皆さまへ、生協パルシステムのご案内をする仕事です。

仕事のやりがい

仕事なので楽しいだけでなく大変なこともあります。先輩や上司に助けをもらいながら創意工夫して乗り越えられたときには大きな達成感を得られます。努力したからこそ得られるものが私をつくっていると思うと、日々の仕事にやりがいを感じます。周りには親身になって寄り添ってくれる先輩や上司がいます。私もそのような先輩になっていきたいです。



- 1947 「野田醤油生協」設立
- 1975 「柏・市民生協」設立
- 1976 「下総生協」「花見川生協」設立
- 1988 「柏・市民生協」「下総生協」「花見川生協」の3生協で共同事業開始
- 1990 「生活協同組合連合会首都圏コープ事業連合」へ4生協が加入
- 1992 「柏・市民生協」「下総生協」「花見川生協」の3生協が組織合同し「生活協同組合エル」が誕生
- 1993 「野田醤油生協」から「コープのだ生協」へ名称変更
- 1994 個人宅配事業開始
- 1996 日本生活協同組合連合会より「優良生協」として表彰される
- 1998 第2次中期3カ年計画「エルビジョン21」策定
- 2000 福祉事業子会社「ケア・アクシス」設立
- 2001 第3次中期3カ年計画策定
- 2002 「生活協同組合エル」と「コープのだ生協」が組織合同
- 2004 第4次中期3カ年計画策定
- 2005 「生活協同組合首都圏コープ事業連合」が「パルシステム生活協同組合連合会」へ名称変更
- 2007 「生活協同組合エル」から「生活協同組合パルシステム千葉」へ名称変更
- 2008 第5次中期3カ年計画策定
- 2011 第6次中期3カ年計画策定、「夕食宅配事業」開始
- 2012 パルシステム千葉創立20周年、2020ビジョン策定、新理念制定、パルグリーンファーム株式会社設立
- 2013 移動販売車「まごころ便」開始
- 2014 第7次中期3カ年計画策定
- 2016 「家事支援事業」開始
- 2017 「Pal's Dining (パルズダイニング)」開始、「電力小売事業」開始、第8次中期3カ年計画策定、地域活動施設「パルひろば☆ちば」開所
- 2018 介護事業を福祉事業子会社「ケア・アクシス」より事業譲受
- 2019 地域活動施設「パルひろば☆おおたかの森」開所
- 2020 2030年ビジョン策定
- 2021 サービス付き高齢者向け住宅「にじいろばる松戸六実」開所
- 2022 パルシステム千葉創立30周年

パルシステムとは

首都圏を中心とした1都12県で活動する地域生協とパルシステム共済生活協同組合連合会、およびその他の会員生協^(※)が構成するグループです。

安全・安心な食材や生活用品をご自宅までお届けする供給事業を中心に展開するほか、組合員や地域の人々と協力して、暮らしの中で生じるさまざまな課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らし続けられる社会をめざしています。

※その他の会員生協
埼玉県勤労者生活協同組合、生活協同組合あいコープみやぎ



「超えてく」をもっと知ろう！



サステナブルなアクションで
これからも、
ずっと
超えてく

サステナブルな未来をめざした、「超えてく」アクションがスタートして今年で4年目。みんなの「こうなったらいいな」を力に、誰もがくらしやすい未来に向けて、進んできました。2025年度も引き続き、さらにもう1歩先へ。ずっと、もっと、超えていきませんか。

2025年度は

「お料理セット」で
さらに超えてく

誰もが手軽にごはん作りができる、パルシステムの「お料理セット」。時短で便利だけでなく、みんなにうれしい、地球にやさしいポイントがたくさんあります。お料理セットを作ること、食べることが、サステナブルなくらしや社会が広がるきっかけに。

うれしい＆やさしいポイント



- 材料は使いきりなので食品ロスの削減に
- カット野菜は規格外品も活用
- エコな紙トレー



メニューは500種以上

2022年度から

超えてく スタート！

食料自給率向上をめざし、
生産者も守る取り組み

お米で超えてく

お魚食べよう

お米や産地のことを知り、おいしく食べることが生産者を支え、田んぼの未来を守ります。

大変な状況にある国内の水産業を応援するために、私たちの「食べる」が大きな力に。

エネルギーを大切に

エネルギー未来アクション

一人ひとりのエネルギーの使い方、選び方が地球の未来を守ります。

パルシステムの

サステナブルの歩み

パルシステムは生まれたときからずっと組合員とともに「私にも誰かにもいいこと」を積み重ねてきました。

たとえば…

環境負荷を減らす取り組みや商品開発。



たとえば…

産地とつながり、支え合う。



「協同組合」には国内外にさまざまな組織がありますが、パルシステムもそのひとつ。人と人が結びつき助け合う「協同組合」のあり方が、さまざまな分野でSDGsに貢献していることが評価され、2025年はその取り組みをさらに広げ進める年と国連総会で定められました。ぜひこの機会に、協同組合についてもっと知っていませんか？

施 設 一 覧

■本部

〒273-0005 千葉県船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21（4 階） TEL：047-420-2600 FAX：047-420-2400

■配送センター・事業所

柏センター 〒277-0871 千葉県柏市若柴 330

印西センター 〒270-1331 千葉県印西市牧の原 2-6

松戸センター 〒270-2214 千葉県松戸市松飛台 273-1

習志野センター 〒275-0001 千葉県習志野市東習志野 6-15-8

千葉センター 〒266-0031 千葉県千葉市緑区おゆみ野 1-27-3

東金センター 〒283-0826 千葉県東金市丘山台 1-12-1

野田センター 〒278-0031 千葉県野田市中根 193

稲毛センター 〒263-0005 千葉県千葉市稲毛区長沼町 337-1

パルシステム・キューブ館山 〒294-0054 千葉県館山市湊 47-1

■店舗

のだ中根店 〒278-0031 千葉県野田市中根 193

TEL：04-7125-5589

■夕食宅配

〒273-0005 千葉県船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21（4 階） TEL：0120-660-788

■家事支援

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台 273-1（松戸センター内） TEL：0120-978-617

■介護事業

サービス付き高齢者向け住宅にじいろばる松戸六実 〒273-0021 千葉県松戸市六実 2-5-1

デイサービスにじいろばる松戸六実 〒273-0021 千葉県松戸市六実 2-5-1

デイサービスにじいろばる野田音女通り 〒278-0035 千葉県野田市中野台 177-7

デイサービスにじいろばる市川里見 〒272-0827 千葉縣市川市国府台 3-2-16

デイサービスにじいろばる船橋海神 〒273-0021 千葉県船橋市海神 6-2-3

訪問介護にじいろばる松戸六実 〒273-0021 千葉県松戸市六実 2-5-1

訪問介護にじいろばる野田 〒278-0031 千葉県野田市中根 193

居宅介護支援にじいろばる野田 〒278-0035 千葉県野田市中野台 177-7

居宅介護支援にじいろばる市川 〒272-0827 千葉縣市川市国府台 3-2-16（2 階）

■地域活動施設

パルひろば☆ちば 〒260-0028 千葉県千葉市中央区新町 18-10 千葉第一生命ビルディング 1F TEL：0120-31-8686

パルひろば☆おおたかの森 〒270-0138 千葉県流山市おおたかの森東 1-3-1 プラティークヴェール 1F TEL：0120-868-664

pal*system
パルシステム千葉

<https://www.palsystem-chiba.coop>